

2026年度 電線需要見通し改訂概要

2026年9月
調査統計専門委員会

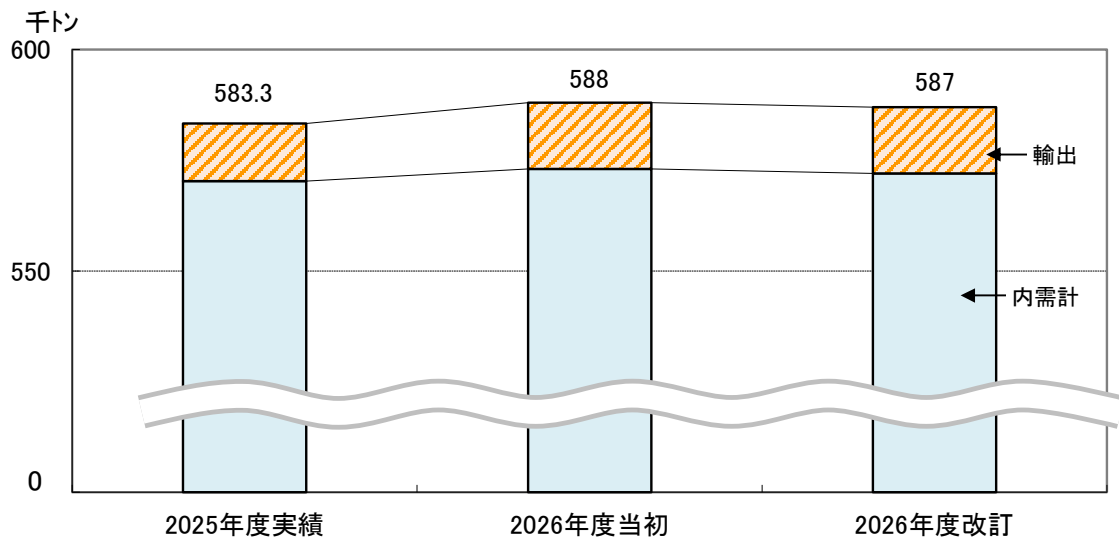
1. 2026年度需要見通しの前提

2026年度日本経済の見通し(前年度比%)

	当初	改訂
実質GDP成長率	+0.9%	+0.8%
民間最終消費支出	+1.0%	+0.6%
民間住宅投資	+1.1%	+0.3%
民間企業設備投資	+1.6%	-0.2%
鉱工業生産指数	+1.5%	+1.8%

※民間シンクタンク13機関平均

2. 2026年度電線需要改訂予測結果



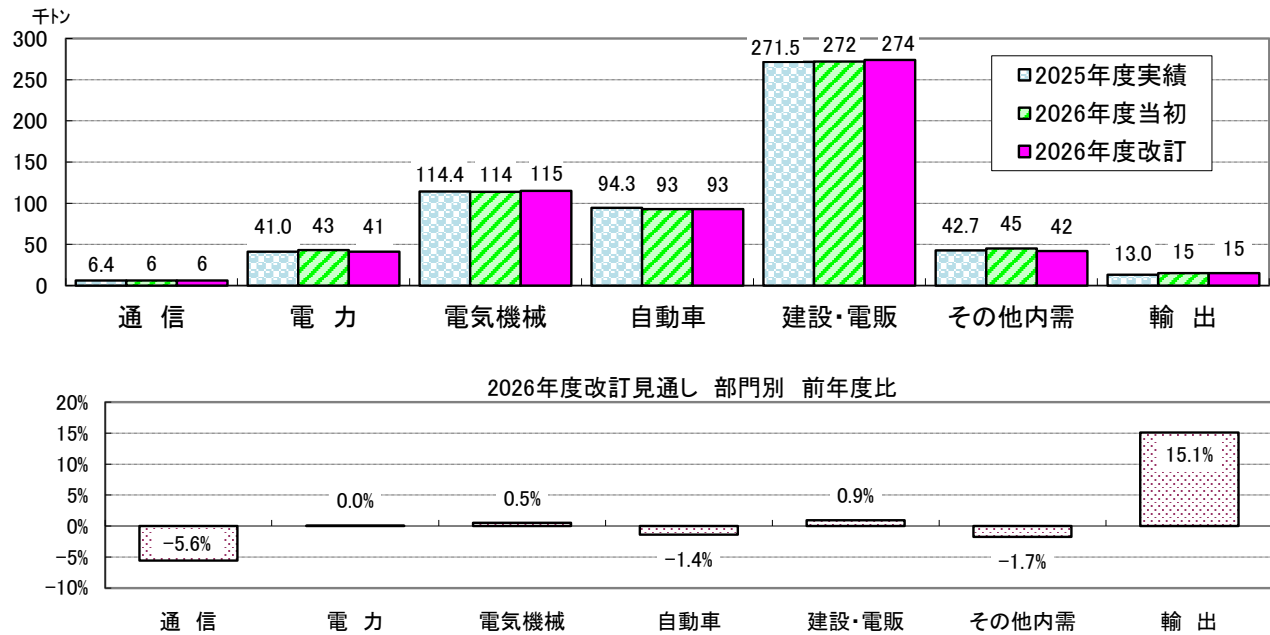
単位: 千トン

銅 電 線	2025年度実績	2026年度当初	2026年度改訂	前年度比
内 需	570.3	573	572	0.3%
輸 出	13.0	15	15	15.1%
合 計	583.3	588	587	0.6%

単位: 千トン

ア ル ミ 電 線	2025年度実績	2026年度当初	2026年度改訂	前年度比
合 計	26.0	27	31	19.3%

3. 2026年度各需要部門別出荷見通し



部	門	コメント
通	信	通信インフラ環境の光化進展により、メタルケーブルの需要は減少とみて、当初据え置き、2025年度比-5.6%と予測。
電	力	経年品の設備更新に加えデータセンターへの供給需要を見込むも、施工人員不足等により、当初比減、2025年度比+0.0%と予測。
電 気 機 械		家電向け需要は弱含みで推移するものの、重電・電装品向け需要が下支えし、当初比増、2025年度比+0.5%と予測。
重	電	AI普及に伴う電力需要の増加を背景に、変圧器や受変電設備など重電機器向け需要が堅調に推移し、当初据え置き、2025年度比+7.5%と予測。
家	電	エアコン向け需要は堅調に推移するも、事務機器向け需要の減少や個人消費低迷を背景に家電市場は横ばい圏で推移、当初据え置き、2025年度比-1.1%と予測。
電 子 ・ 通 信		AIサーバーや半導体製造装置、FA機器、産業用ロボット向け需要は堅調だが、機器の小型化・回路集積化による需要減を見込み、当初据え置き、2025年度比-1.4%と予測。
電 装 品		EVの生産拡大や車両の高機能化に伴い、1台当たりの電線使用量は増加するものの、自動車生産台数の減少を見込み、当初比増ながら、2025年度比-0.4%と予測。
自 動 車		国内自動車生産台数は、生産体制の正常化が進み、当初懸念されていた米国関税やEV競争力低下の影響も限定的と見込むものの、生産調整等により前年度比で減少すると予測。電動化の進展による原単位増加は見込まれるが、電線需要は当初据え置き、2025年度比-1.4%と予測。
建 設 ・ 電 販		建築費高騰や人手不足による工期の長期化など施工制約はあるものの、データセンターや都市再開発、半導体工場などの大型案件により、需要は底堅く推移するとみて、当初比増、2025年度比+0.9%と予測。
そ の 他 内 需		設備更新需要はあるものの、当初想定を下回る水準で推移、当初比減、2025年度比-1.7%と予測。
輸 出		再生可能エネルギーや送配電網投資の拡大、欧州向け電力ケーブル輸出の継続を背景に需要は堅調。当初据え置き、2025年度比+15.1%と予測。

以上

表1

2026年度電線需要見通し改訂 (総括表)

2026年9月

単位:千トン

区 分 年 度		出 荷			
		銅 電 線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
2019	(実績)	694.2	-0.5%	31.0	3.6%
2020	(実績)	622.6	-10.3%	31.9	2.8%
2021	(実績)	630.4	1.2%	26.4	-17.0%
2022	(実績)	619.6	-1.7%	22.3	-15.5%
2023	(実績)	619.5	0.0%	26.6	19.2%
2024	(実績)	595.4	-3.9%	24.2	-9.3%
2025 実 績	上期	288.8	(-2.8%)	12.6	(6.9%)
	下期	294.5	(-1.3%)	13.3	(8.1%)
	計	583.3	-2.0%	26.0	7.5%
2026 当 初 見 通 し	上期	290	(0.4%)	13	(3.0%)
	下期	298	(1.2%)	13	(-2.6%)
	計	588	0.8%	27	3.9%
2026 改 訂 見 通 し	上期	296	(2.5%)	15	(18.8%)
	下期	292	(-0.9%)	16	(19.9%)
	計	587	0.6%	31	19.3%

(注) 1. ()内は前年同期比を示す。

[KN260910]

2. 四捨五入のため計や比率が合わない場合もある。

3. 当初…2026年3月、改訂…2026年9月策定のもの。

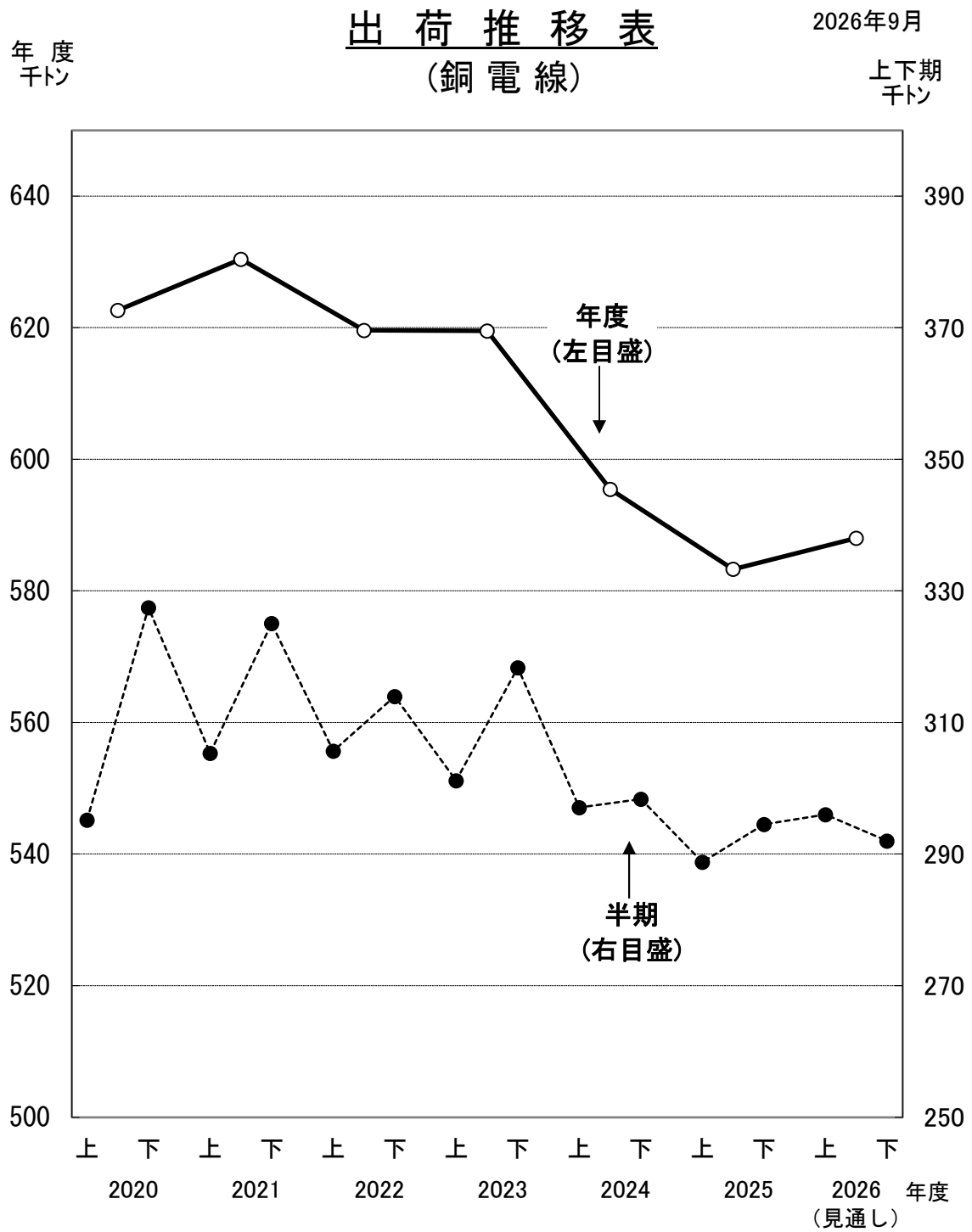


表2

2026年度電線需要見通し改訂 (主要部門別)

2026年 9月

単位:千トン

出 荷								
部 門	年度 期	2026 (見 通 し)						
	2025 (実績)	当 初			改 訂			26/25(%)
		上期	下期	計	上期	下期	計	
通 信	6.4	3	3	6	3	3	6	-5.6
電 力	(19.9)	(10)	(10)	(20)	(11)	(11)	(22)	(10.3)
	41.0	21	22	43	19	22	41	0.0
電気機械	114.4	57	57	114	58	57	115	0.5
重電	14.9			16			16	7.5
家電	8.1			8			8	-1.1
電子・通信	22.3			22			22	-1.4
電装品	51.2			50			51	-0.4
その他	17.9			18			18	0.4
自 動 車	94.3	46	47	93	49	44	93	-1.4
建設・電販	271.5	134	138	272	136	138	274	0.9
その他内需	(5.7)	(3)	(3)	(6)	(3)	(4)	(7)	(23.4)
	42.7	22	23	45	20	22	42	-1.7
内 需 計	(25.6)	(13)	(13)	(26)	(14)	(15)	(29)	(13.2)
	570.3	283	290	573	286	286	572	0.3
輸 出	(0.4)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(2)	(465.0)
	13.0	7	8	15	9	6	15	15.1
合 計	(26.0)	(13)	(13)	(27)	(15)	(16)	(31)	(19.3)
	583.3	290	298	588	296	292	587	0.6

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN260910]

2. 四捨五入のため、計や比率が合わない場合もある。

3. 当初…2026年3月、改訂…2026年9月策定のもの。

2030年度 中期電線需要見通し概要

2026年9月
調査統計専門委員会

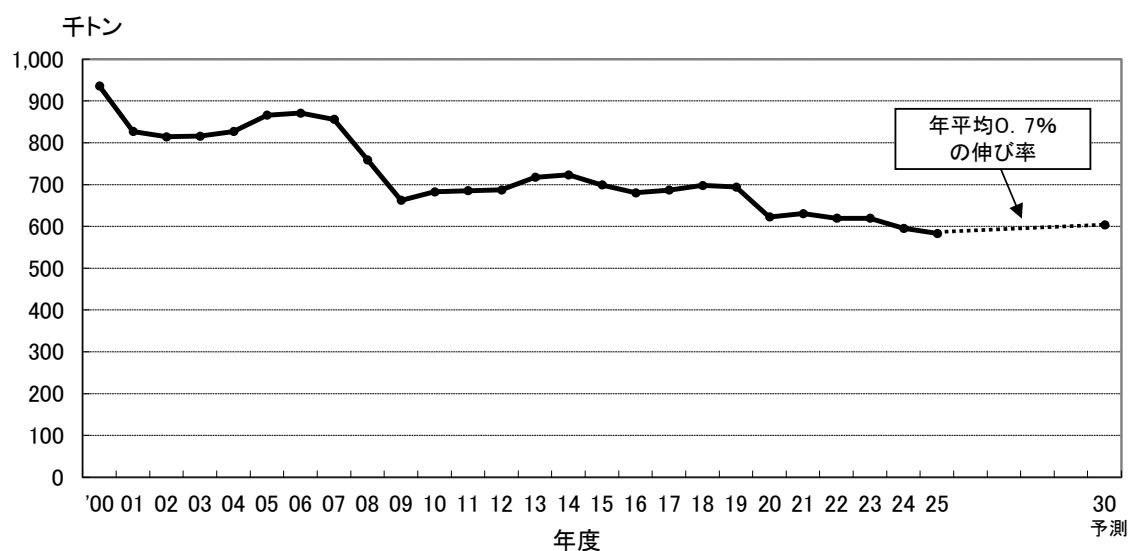
1. 2030年度中期需要見通しの前提

2025～2030年度日本経済の見通し(年平均伸び率%)

実質GDP成長率	+1.0%
民間最終消費支出	+0.8%
民間住宅投資	-0.6%
民間企業設備投資	+1.3%
鉱工業生産指数	+1.2%

※民間シンクタンク2機関平均

2. 2030年度中期電線需要予測結果



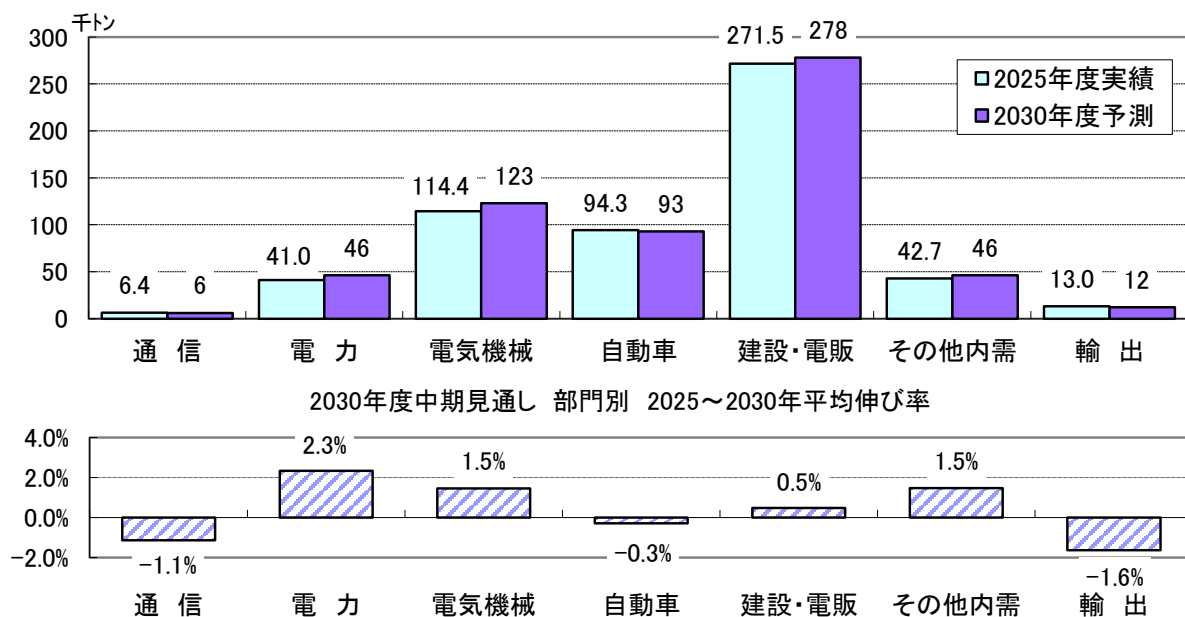
単位: 千トン

銅 電 線	2025年度実績	2030年度予測	25～30年平均伸び率
内 需	570.3	592	0.8%
輸 出	13.0	12	-1.6%
合 計	583.3	604	0.7%

単位: 千トン

ア ル ミ 電 線	2025年度実績	2030年度予測	25～30年平均伸び率
合 計	26.0	33	4.9%

3. 2030年度各需要部門別出荷見通し



部 門	コメント
通 信	データセンター等で電力用ケーブルの需要はあるものの、通信インフラ環境の光化進展により、通信用メタルケーブルの需要は限定的とみて、2025年度～2030年度までの平均伸び率－1.1%と予測。
電 力	経年品の更新や再生可能エネルギー関連、AI普及をにらんだ電力インフラ整備需要やデータセンターへの供給需要が期待され、2025年度～2030年度までの平均伸び率＋2.3%と予測。
電 気 機 械	電装品向けはEV普及や車両の高機能化を背景に増加し、重電向けは設備更新需要、電子・通信向けはAIやデータセンター関連需要の拡大が見込まれる。家電向けは緩やかな減少が予想されるものの、全体では堅調に推移し、2025年度～2030年度までの平均伸び率＋1.5%と予測。
重 電	電力需要の増加や再生可能エネルギー関連投資の拡大、設備更新需要を背景に、データセンター向けをはじめとする変圧器需要は堅調に推移すると見込み、2025年度～2030年度までの平均伸び率＋2.7%と予測。
家 電	省エネ・高機能家電向け需要や海外向け需要が下支えするも、国内の人口減少や市場成熟化、海外生産シフトを背景に需要は緩やかに減少する見込み。2025年度～2030年度までの平均伸び率－0.2%と予測。
電子・通信	機器の小型化・高集積化の進展による需要減はあるものの、FA・医療・DX関連に加え、半導体、宇宙航空分野向けの需要拡大を見込み、2025年度～2030年度までの平均伸び率＋1.5%と予測。
電 装 品	自動車生産台数の伸びは限定的ながら、EVの普及や車両の高機能化に伴い電線需要は底堅く推移、2025年度～2030年度までの平均伸び率＋1.1%と予測。
自 動 車	国内需要の成熟化や人口減少に加え、自動車メーカーの海外現地生産の進展により、国内自動車生産台数は減少すると予測する。電動化・高機能化の進展を背景に原単位は増加が見込まれるものの、2025年度～2030年度までの年平均伸び率－0.3%と予測。
建 設 ・ 電 販	データセンター、AI・半導体関連投資、都市再開発、物流施設、再生可能エネルギー関連を中心とした大型プロジェクトや更新需要が見込まれるものの、人口減少や住宅需要の縮小に加え、施工能力不足が成長の制約となることから、2025年度～2030年度までの平均伸び率＋0.5%と予測。
そ の 他 内 需	鉄道関連やモーター向け間接輸出、産業機械、再生エネルギー関連・カーボンニュートラル関連投資等の需要増を見込み、2025～2030年度の平均伸び率＋1.5%と予測。
輸 出	世界的な電力需要の増加による送配電網投資を背景に需要は底堅いが、地政学的リスクの高まりやサプライチェーンの再構築による現地生産化の進展により、2025年度～2030年度までの平均伸び率－1.6%と予測。

以上

表3

中期電線需要見通し (出荷ベース)

2026年9月

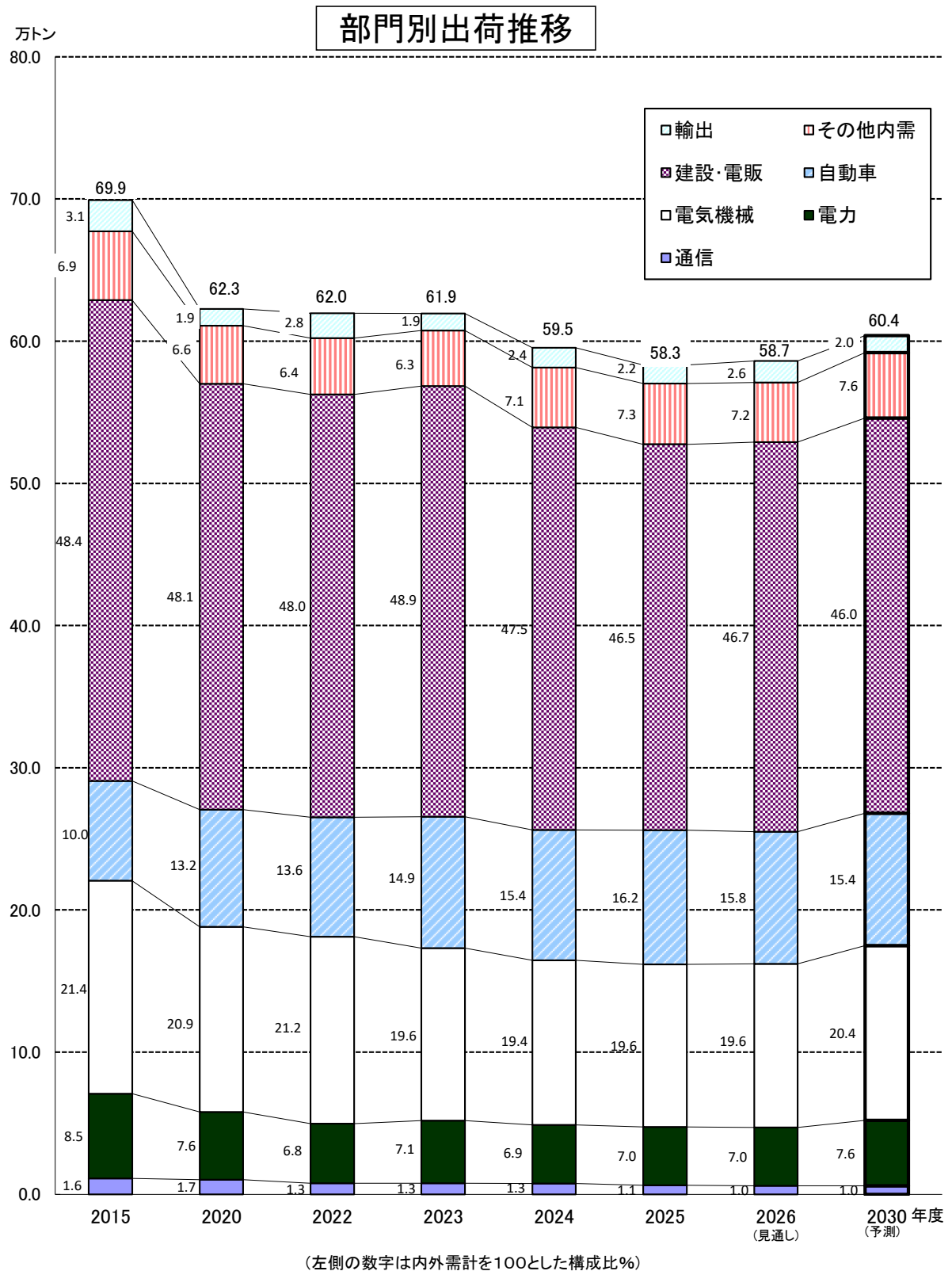
単位:千トン

年 度 部 門	2024	2025		2026		2030		30/25 年平均 伸び率(%)	30/26 年平均 伸び率(%)
	実績	実績	構成比 (%)	見通し 改訂	構成比 (%)	予測	構成比 (%)		
通 信	7.6	6.4	1.1	6	1.0	6	1.0	-1.1	0.0
電 力	(17.8) 41.3	(19.9) 41.0	(76.8) 7.0	(22) 41	(71.0) 7.0	(24) 46	(72.7) 7.6	(3.8) 2.3	(2.2) 2.9
電 気 機 械	115.7	114.4	19.6	115	19.6	123	20.4	1.5	1.7
重 電	15.7	14.9		16		17		2.7	1.5
家 電	9.6	8.1		8		8		-0.2	0.0
電子・通信	22.1	22.3		22		24		1.5	2.2
電 装 品	50.2	51.2		51		54		1.1	1.4
そ の 他	18.1	17.9		18		20		2.2	2.7
自 動 車	91.7	94.3	16.2	93	15.8	93	15.4	-0.3	0.0
建 設 ・ 電 販	283.1	271.5	46.5	274	46.7	278	46.0	0.5	0.4
そ の 他 内 需	(6.0) 42.1	(5.7) 42.7	(21.8) 7.3	(7) 42	(22.6) 7.2	(8) 46	(24.2) 7.6	(7.1) 1.5	(3.4) 2.3
内 需 計	(23.8) 581.4	(25.6) 570.3	(98.6) 97.8	(29) 572	(93.5) 97.4	(32) 592	(97.0) 98.0	(4.5) 0.8	(2.5) 0.9
輸 出	(0.3) 14.0	(0.4) 13.0	(1.4) 2.2	(2) 15	(6.5) 2.6	(1) 12	(3.0) 2.0	(23.1) -1.6	(-15.9) -5.4
合 計	(24.2) 595.4	(26.0) 583.3	(100.0) 100.0	(31) 587	(100.0) 100.0	(33) 604	(100.0) 100.0	(4.9) 0.7	(1.6) 0.7

[KN260910]

- (注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため、計や比が合わない場合がある。

図2



[KN260910]